福井アリーナ（仮称）　整備・運営に関する事業計画（案）〈概要版〉

プロジェクトコンセプト

まちに開かれまちとつながる地域交流拠点

「歩きたくなる」まちとして地域を盛り上げる、
まちに開いた365日県民・市民でにぎわう、自然と立ち寄りたくなるアリーナ

整備イメージ

・プロスポーツやコンサートをはじめとした
様々なイベントの開催を通じて、立地を活かした
集客を図ることで、まちなかににぎわいを創出する。

・広場に面して、エントランスホールやサブアリーナ、
ショップ等を整備し、日常的に開かれた施設とすることで、
多様な人々、多世代の人々の地域交流拠点とする。

・他にはない独自の演出で福井らしさを創出し、
中規模でもキラリとひかるアリーナを目指す。

・北陸新幹線福井開業によりできた人流をさらに福井県全域に
波及し、にぎわいの風を巻き起こす。

配置、平面計画

〇配置計画上の配慮

・歩行者動線と関係車両動線を明確に分離した、安全な動線計画
・周辺の住宅地からの距離を確保したアリーナ配置
・住宅地への車両の出入りを抑えた、荒川沿いの駐車場配置

〇アリーナ設計上の配慮

・日常的な利用を想定し、広場に面してエントランスホールや
サブアリーナ、ショップ等を整備
・周囲に音が漏れにくい、鉄筋コンクリート造の外壁

〇防災上の配慮

・災害時における帰宅困難者や物資の一時集結等の役割を担うアリーナ
・大地震時の損傷を抑えることを目標とした、耐震安全性Ⅱ類のアリーナ

福井アリーナ（仮称）　整備・運営に関する事業計画（案）〈概要版〉

①　アリーナの概要

名　　称：福井アリーナ（仮称）
計 画 地：福井市東公園内
延床面積：約13,000㎡
建築面積：約8,250㎡
施設規模：メイン・サブアリーナ、その他
付帯設備：ＶＩＰ機能、大型映像装置、音響、演出照明装置　他
席　　数：プロスポーツ時 約5,000席
コンサート時 4,500席
利用想定：スポーツ（Ｂリーグ等）
ライブ、コンサート
MICE(セミナー、コンベンション、展示会等)
県民・市利用（地域行事、学校行事、部活動、スポーツ少年団、県民・市民スポーツ）

②　整備・運営方針

【にぎわいの創出】
○「福井ブローウィンズ」のホームアリーナを想定し、新B1基準を満たすよう計画

【多世代交流の促進】
○プロスポーツ、コンサート等の開催により、県内外の多世代が集い、交流できる県都にふさわしい施設

【防災機能への貢献】
○災害時における帰宅困難者支援や物資の一時集結の役割を担い、地域の防災機能を強化

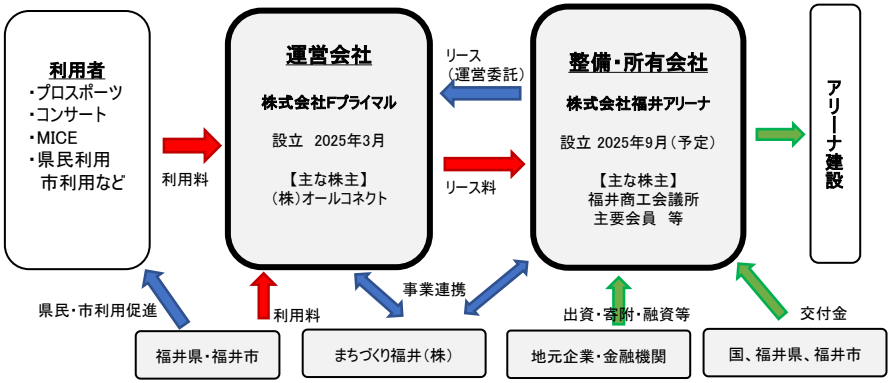
【地域共生の推進】
○周辺の良好な住環境の維持・保全に最大限配慮

【コスト意識の徹底】
○最低限の機能で計画し、床面積を最小化。構造的にも維持管理においても最も合理的かつローコストな計画

③　事業費・運営スキーム

事業費　150億円

国・県・市 60億円	民間調達額　90億円



④　事業収支計画

運営会社

【収入】　単位:百万円(税別)

メイン・サブアリーナ等使用料	246
VIPフロア使用料	118
県民利用料	164
市利用料	70
広告収入	52
売店・自販機等収入	74
合計	724

【支出】　単位:百万円(税別)

リース料	290
運営・維持管理費	265
広報費	15
VIP原価	83
売店等原価	55
合計	708
税引前利益	16

整備・所有会社

【収入】　単位:百万円(税別)

リース料	290
寄附・協賛	200
ふるさと融資保証料支援	40
合計	530

【支出】　単位:百万円(税別)

設備メンテナンス費	10
保険料	15
固定資産税	70
修繕・積立金	50
支払利息	52
ふるさと融資保証料	40
諸経費	11
合計	248
減価償却前利益	282

⑤　利用想定

用途	日数	備考
プロスポーツ	63日+α	Bリーグ (Vリーグ、Tリーグ)
コンサート	24日+α	国内外アーティスト
ＭＩＣＥ	60日+α	セミナー、コンベンション、展示会等
県民利用 市利用	134日+α	地域行事、学校行事、部活動等
メンテナンス	15日	
合　計	296日+α	ー

⑥　経済波及効果

波及効果：年間 61億円
※福井県産業連関表による試算結果

○年間来場者見込:39万人
○来場者による入場料や交通、飲食・物販、宿泊等による駅周辺・県内での消費額：年間48億円

⑦　整備スケジュール（案）

令和8(2026)年1月頃～　：　実施設計
令和9(2027)年1月頃～　：　建設工事
令和10(2028)年秋頃～：　完成予定

（令和7年8月19日発表資料より抜粋）